

昭和八年中福岡地方無産政黨の情勢

- 1、一般情勢
  - a、社民、勞大兩黨の合同問題
  - b、市町村會議員總選舉
- 2、各無産政黨の現情
  - a、舊社會民衆黨
  - b、舊勞農大衆黨
  - c、國家社會黨

昭和八年中福岡地方無産政黨の情勢

1、一般情勢

滿洲事變後非常時學國一致的國民意識の強化は即ち階級的無産政黨をして大衆的の信賴より漸次遠ざからしめ、最近勞働組合が所謂健全なる經濟團體としての組合主義を標榜して政治運動に對する態度の著しく消極的となり、且つ舊社民、舊勞大兩黨の合同は地方的特殊事情に阻まれて全國的の完成を見ること能はず、國社黨亦結成僅か一年ならずして動搖し、かくて絶へざる戦線の混亂は即ち無産政黨の沈滞を深からしめたのであつて、福岡地方亦舊社民、舊勞大兩黨對立抗争の儘、本年四五月の市町村會議員選舉に臨みて成績概して振はず、全体的に其の勢力の進出を見る事が出来なかつたのである。